加古川市

都市計画マスタープラン

City Planning Master Plan of KAKOGAWA

都市計画マスタープラン策定後の取組状況
（令和２年 12 月時点）

加古川市
平成29年4月

1. 序論

（1）都市計画マスタープランの内容

✓都市計画マスタープランは、都市計画法第 18 条の 2 に規定された「市町村の都市計画に関する基本方針」であり、住民に最も近い立場にある市町村が、住民の意見を反映し、まちづくりの具体性ある将来ビジョンを確立し、地域別のあるべき都市像を示すものである。

✓地域別の整備課題に応じた整備方針、地域の都市生活、経済活動を支える諸施設の計画等をきめ細かくかつ総合的に定めるものである。

（2）計画の目標年次

✓概ね 20 年後の都市の姿を展望しつつ、目標年次を平成 32 年（2020 年）とする。

2. 将来の都市像およびまちづくりの基本目標

（1）将来の都市像

「いつまでも住み続けたい　ウェルネス都市　加古川」

（2）まちづくりの基本目標

■ 安心して暮らせるまちをめざして

➢健康や生活の安全を守り、安心して暮らせるまちをめざします。

■ 心豊かに暮らせるまちをめざして

➢生涯にわたり学習や文化・スポーツ活動に取り組める環境を整備し、心豊かに暮らせるまちをめざします。

■ うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして

➢地域や地球全体の環境を保全し、うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざします。

■ にぎわいの中で暮らせるまちをめざして

➢農業や工業、商業等の産業を振興し、にぎわいの中で暮らせるまちをめざします。

■ 快適に暮らせるまちをめざして

➢地域の特性を生かした適切な土地利用と計画的な都市基盤整備を行い、快適に暮らせるまちをめざします。

（3）まちづくりの基本的な方針

➢都心・副都心の都市機能の充実・強化

➢地域拠点の魅力向上と地域特性を生かした生活圏の形成

➢各都市拠点間ネットワークの充実・強化

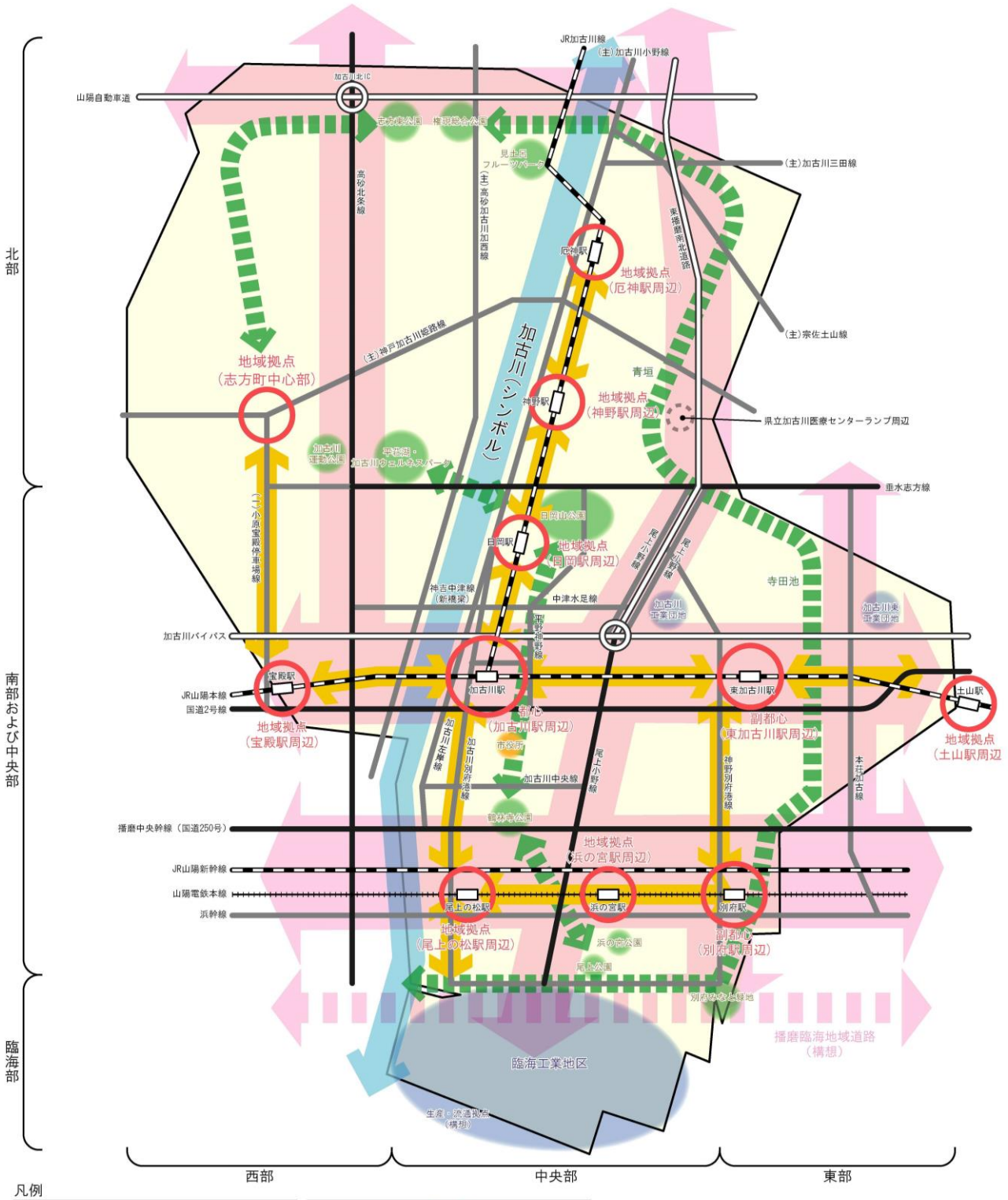
➢安全で快適な生活基盤の整備と適正な維持管理・更新の推進

➢多様な水辺と緑のあふれる美しいまちづくりの推進

➢豊かさと活力のある持続可能なまちづくりの推進

➢既存の都市資源を生かしたソフト施策の充実によるまちづくりの推進

3. 将来の都市構造図



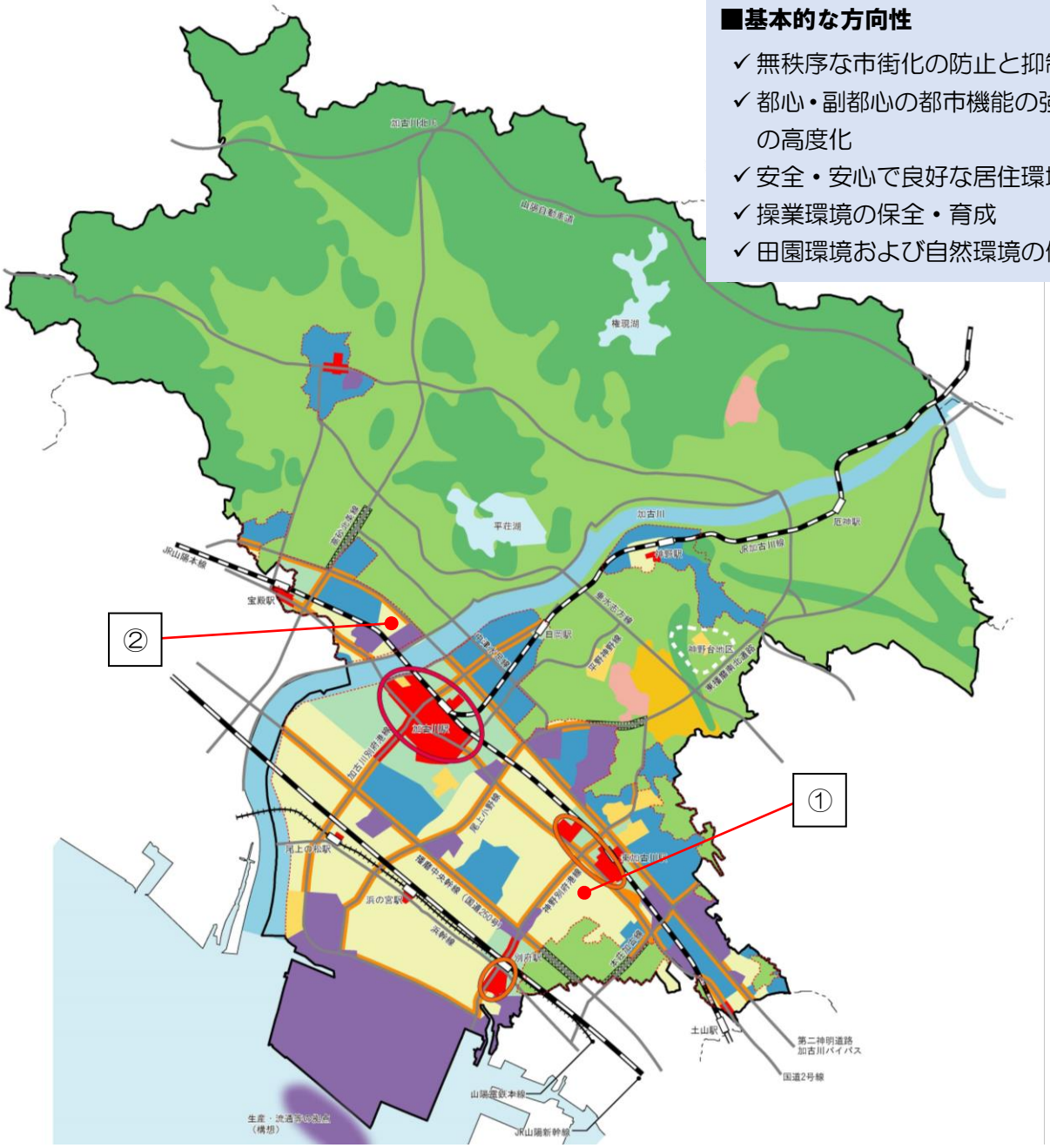
凡例

	広域幹線道路(自動車専用道路)
	広域幹線道路
	地域幹線道路
	都市拠点
	行政サービス拠点
	生産・流通等の拠点
	レクリエーション拠点

広域連携軸	
市内連携軸	
アメニティ軸	

※図中の道路名のうち、認定路線名を示すものは以下のとおり
先頭に(主)がつくもの ・・ 主要地方道
先頭に(一)がつくもの ・・ 一般県道

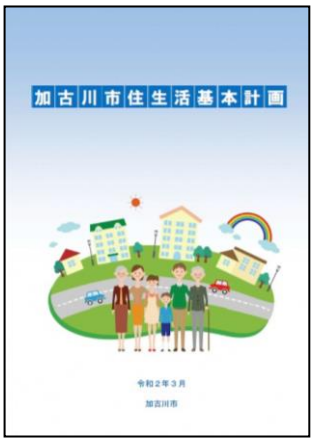
4. 土地利用



■基本的な方向性

- ✓ 無秩序な市街化の防止と抑制
- ✓ 都心・副都心の都市機能の強化と土地利用の高度化
- ✓ 安全・安心で良好な居住環境の形成
- ✓ 操業環境の保全・育成
- ✓ 田園環境および自然環境の保全・活用

●安全・安心で良好な居住環境の形成



◀ 加古川市住生活基本計画
（令和２年３月策定）

加古川市空家等対策計画 ▶
（平成 30 年３月策定）

●都心・副都心の都市機能の強化と土地利用の高度化

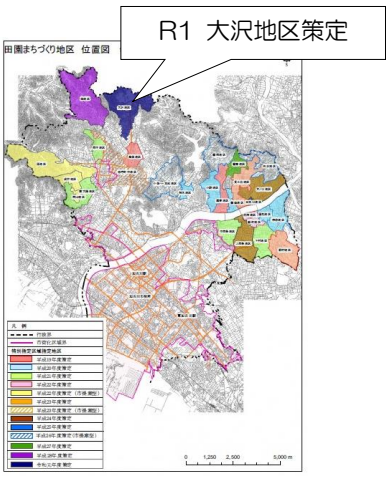
▲加古川東市民病院跡地
複合施設（東加古川公民館・東加古川子育てプラザ）・東消防署　完成イメージ図

▲加古川西市民病院跡地
フェニックス加古川記念病院

▲加古川東市民病院跡地は、令和４年の施設オープンに向けて整備が進められています。

〇公共施設等総合管理計画の策定（平成２９年２月）
〇公共施設再編計画の策定（令和２年３月）
　これら２つの計画に基づき、地域の実情に応じた公共施設の適正配置が図られます。

●安全・安心で良好な居住環境の形成/田園環境および自然環境の保全・活用



▲田園まちづくり制度

▲都台地区地区計画の策定
（平成３０年４月）
⇒低層で良好な住宅団地を保全するため、策定されました。

▲神野台地区地区計画の策定
（平成２９年１１月）
⇒給食センターの整備や、兵庫県と連携した健康拠点の形成が進められています。

5. 基盤施設整備（交通施設・上水道および下水道施設）

交通施設

■基本的な方向性

- ✓ 体系的な幹線道路整備の推進
- ✓ 都心・副都心への良好なアクセスの確保
- ✓ 身近な道路整備の推進
- ✓ 歩行者・自転車利用ネットワークの形成
- ✓ 交通結節点機能の強化
- ✓ 公共交通機能の充実・ネットワークの形成
- ✓ 適時・適切な都市計画の見直し

●身近な道路整備の推進 ／ 歩行者・自転車利用ネットワークの形成

▲駐輪場の整理（自転車対策事業）

▲自転車利用環境整備計画に基づく
自転車レーンの整備

●体系的な幹線道路整備の推進

▲中津水足線外１線道路改良事業　進捗状況

▲中津水足線外１線道路改良事業　進捗状況

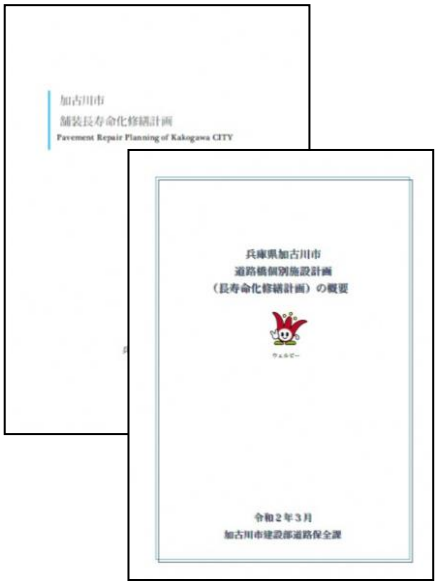
▲神吉中津線道路改良事業　進捗状況

▲緊急対策踏切改良事業（宮ノ下踏切）

○道路整備事業
　東播磨道（第二期）、加古川別府港線、
　尾上小野線、国道２号線、高砂北条線
○平荘大久保線（池尻橋）歩道設置
○加古川市自転車利用環境整備計画の策定
（平成 30 年８月）

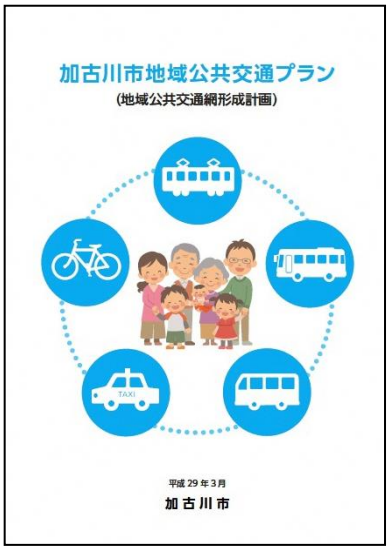
●各計画に基づく、道路施設等の適正な維持管理・更新

▲点検車を用いた橋梁の点検
点検車を用いることで、より有効な維持管理が図られています。



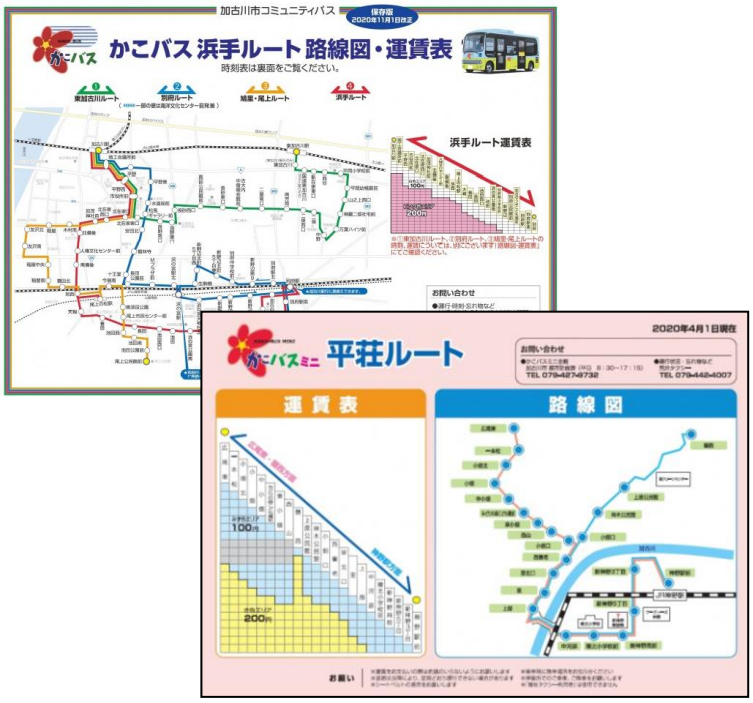
▲舗装長寿命化修繕計画の策定
（令和２年２月）
橋梁長寿命化修繕計画の策定
（令和２年３月）

●公共交通機能の充実・ネットワークの形成



▲加古川市地域公共交通プラン
（地域公共交通網形成計画）の策定
（平成 29 年３月）

加古川市総合計画、加古川市都市計画マスタープランを上位計画とし、今後の加古川市の公共交通網のあり方を示すマスタープランとなるものです。



▲上）かこバス　浜手ルートの運行開始（令和２年 11 月）
下）かこバスミニ　平荘ルート路線図

かこバスは市街地の人口集中地区で、既存のバス路線や鉄道が近くにない地域を走行しています。

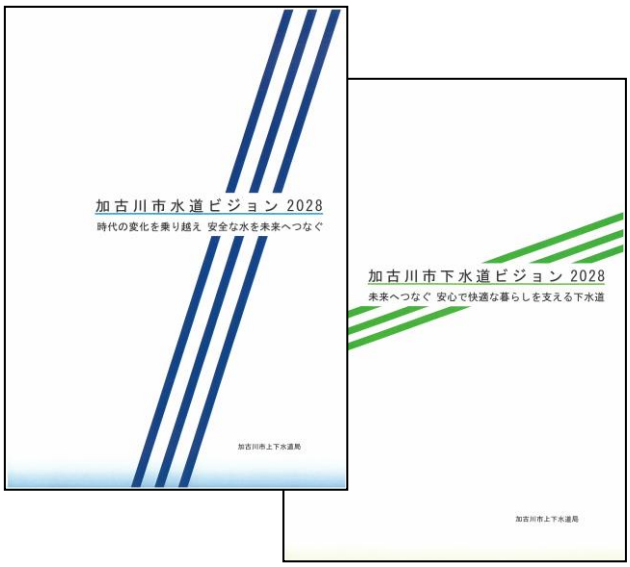
かこバスミニはワゴン型ジャンボタクシーを使い、主に市北部の公共交通空白地を走行しています。日常生活の交通手段として、市民の生活を支えています。

上水道および下水道施設

■基本的な方向性

- ✓各計画に基づく上下水道施設の適正な維持管理、老朽施設更新と合わせた計画的な耐震化や整備
- ✓生活排水処理計画、公共下水道事業計画等による生活排水処理率の向上
- ✓市街化調整区域における地域の実情に対応した生活排水処理の促進

▲別府川 5-7 号雨水幹線整備事業



▲加古川市水道ビジョン 2028の策定（平成 31 年３月）
加古川市下水道ビジョン 2028の策定（平成 31 年３月）

▲下水道管整備事業

下水道施設の計画的な整備により、下水道普及率の向上が図られています。
（平成 29 年：90.9% ⇒ 令和２年：91.5%）

▲中西条浄水場　浄水処理施設の耐震化

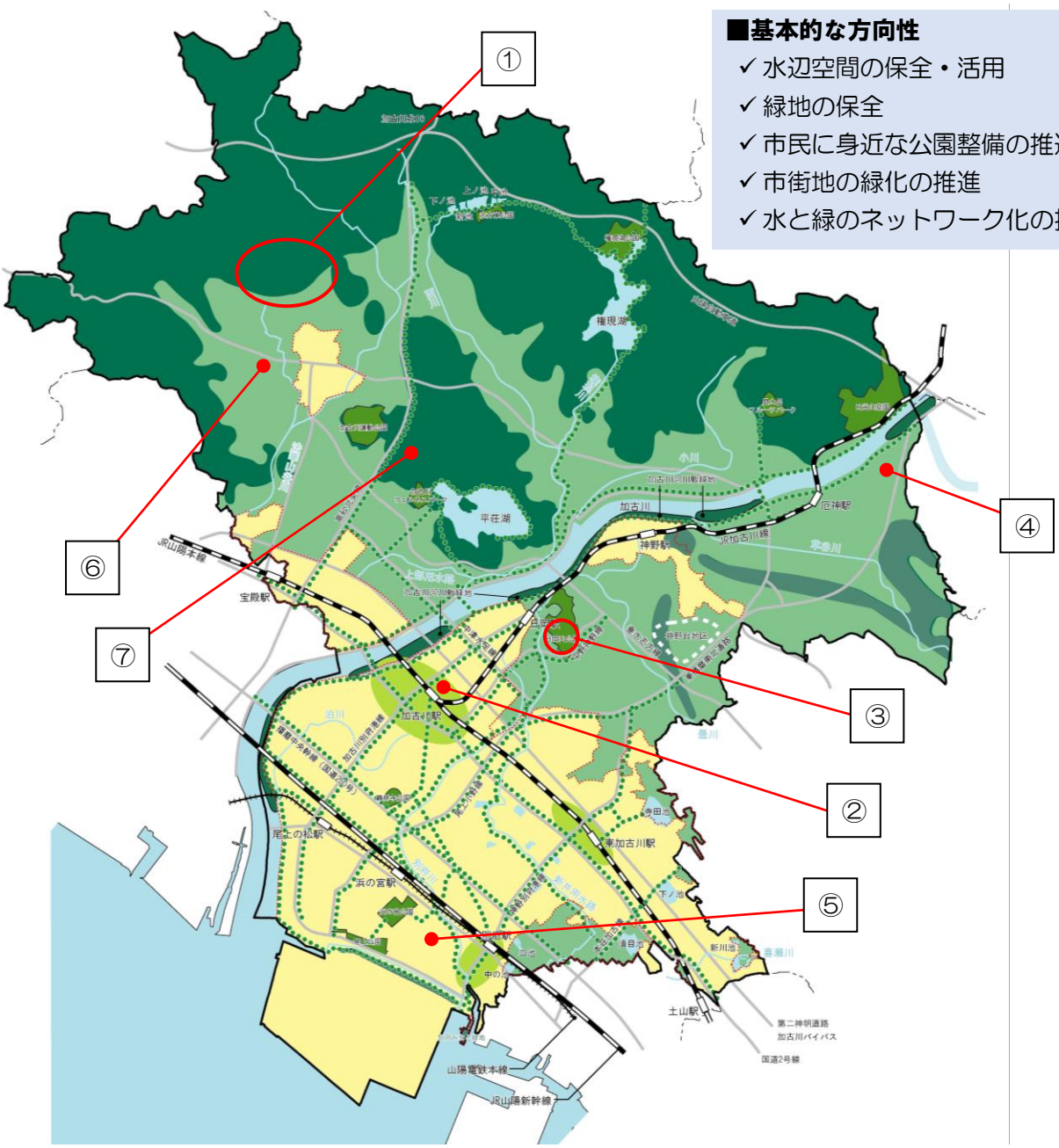
▲中西条浄水場　着水井・薬品注入施設の更新

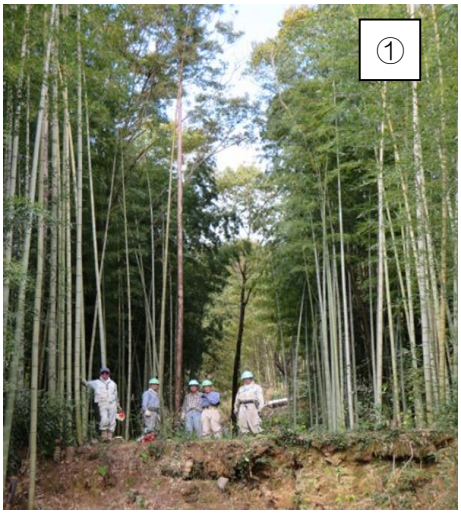
安全で良質な水の安定供給を目指し、上水道施設の適正な維持管理や更新・整備などが計画的に進められています。

6. 水と緑のまちづくり

■基本的な方向性

- ✓ 水辺空間の保全・活用
- ✓ 緑地の保全
- ✓ 市民に身近な公園整備の推進
- ✓ 市街地の緑化の推進
- ✓ 水と緑のネットワーク化の推進





▲生物多様性の取組　里山整備（行常の森）

▲駅北第３公園（篠原甲峠公園）の整備

▲日岡山公園　駐車場整備　／ 日岡山給食センター整備

▲公園整備（五郎池公園）　▲公園整備（宮畑公園）

▲ため池改良事業　⑥原皿池　⑦馬頭池

松の木谷池、西山新池でもため池改良事業が行われ、自然環境の保全や農業の維持が図られています。

7. 市街地整備

■基本的な方向性

- ✓ 都心・副都心における市街地整備の推進
- ✓ 市街化区域における基盤整備の推進
- ✓ 密集市街地における防災基盤整備の推進
- ✓ 都市基盤が整った地区における良好な居住環境の保全・育成

○加古川駅周辺地区まちづくり構想策定
（令和２年６月）

○見守りカメラの設置（市内 1475 箇所）

◀生物多様性の取組
（ギフチョウ生息地保全活動）

▼家庭用燃料電池システム（エネファーム）
設置の補助

●密集市街地における防災基盤整備の推進

▲寺家町地区・篠原地区　勉強会の開催

寺家町地区では防災道路の延伸に向けた勉強会、篠原地区では老朽木造建築物の密集解消に向けた勉強会を開催し、地域の防災性の向上に取り組んでいます。

◀▼寺家町周辺地区防災街区事業　完成写真

●低炭素都市づくり

◀加古川ウェルネスパーク
ESCO 事業

地球温暖化対策の率先的な取組の一つとして、加古川ウェルネスパーク ESCO 事業を実施しています。民間のノウハウや資金、経営能力、技術力等を活かした施設の省エネルギー改修を行い、運用しながらさらなる省エネに取組んでいます。

左）ごみ減量（剪定枝の回収）

剪定枝を分別回収し、ごみの減量に取り組んでいます。

右）環境啓発

環境問題を考える機会として、自然と触れ合うイベント（eco フェスタなど）や住宅の省エネ診断（うちエコ診断）、環境セミナーなどを開催しています。

8. 防災まちづくり

■基本的な方向性

- ✓ 交通ネットワークの多元・多重化
- ✓ 体系的な防災拠点の整備
- ✓ 安全・安心な生活圏の形成（都市基盤整備や水と緑の空間整備など）
- ✓ 災害危険地区の対策の推進
- ✓ 建築物などの耐震・不燃化の促進
- ✓ 総合治水対策の推進

○雨水貯留事業（校庭貯留）

平岡中学校：約 900 t

神吉中学校：約 750 t

◀ 河川ライブカメラの整備

（養田川 養田水門上流カメラ、泊川 尾上橋下流カメラ）

市 HP から、河川の画像を確認することができます。

●総合治水対策の推進

▲日岡山公園周辺　調整池の整備

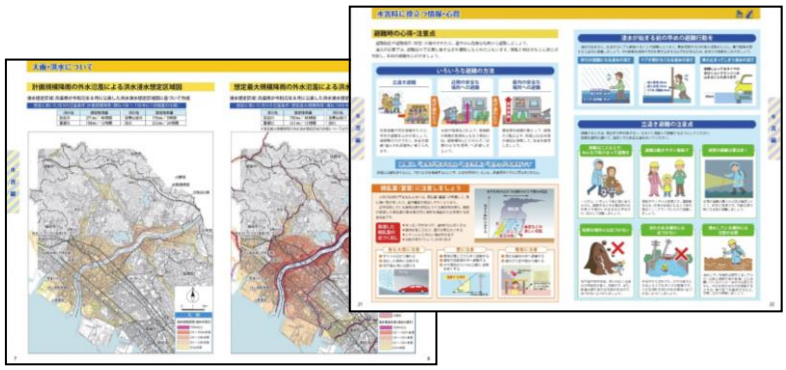
▲県事業　二級河川法華山谷川改修事業

▲ため池洪水吐　切欠き工事

▲鼎地区長慶井堰整備事業

井堰を整備し、治水施設の整備・強化が進められています。平荘地区里井堰も整備されました。

●安全・安心な生活圏の形成（都市基盤整備や水と緑の空間整備など）



◀加古川市総合防災マップの作成と配布（令和２年９月）

災害により想定される被害の規模や範囲だけでなく、日頃の防災対策に役立つ情報が一冊にまとめられ、市民の防災意識の高揚が図られています。

緊急避難場所の確保に関する協定の締結や、防災用資材の充実化も進められています。

令和２年１２月作成
加古川市　都市計画部　都市計画課